

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(沖縄県)

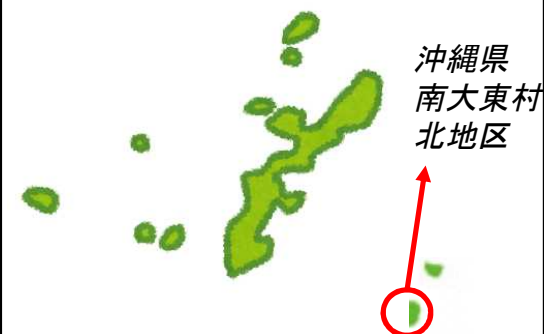
## 取組の概要

取組の概要 : さとうきび・かぼちゃ産地の形成  
 計画作成主体 : 南大東村担い手育成総合支援協議会  
 対象品目 : さとうきび、かぼちゃ  
 (産地面積 : 40.4ha)  
 主な取組主体 : 生産者(個人)  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)  
 助成金の活用 : 生産支援事業(トラクター等の導入)  
 状況

## ポイント

さとうきびは南大東島の基幹作物であり、製糖業は地域経済にとって重要な産業である。  
 トラクター等の導入で中心的経営体への作業の集約等が可能となり、効率的なさとうきび生産体制を確立し、規模拡大や冬場の端境期に需要が高く、高収益作物であるかぼちゃへ振り替えていくことで、さとうきびとかぼちゃの輪作体系の確立に向けた取組を行っている。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積:さとうきび 33.0ha  
 (出荷数量:1,266t)  
 販売額:さとうきび 25,577千円  
 販売額はH24～H28の5中3実績  
 かぼちゃ 0円

〈目標:H31年度〉

作付面積: さとうきび 40.4ha  
 (出荷数量:1,393t)  
 かぼちゃ 0.1ha  
 (出荷数量:1.0t)  
 販売額:さとうきび27,715千円  
 かぼちゃ 420千円



## 推進体制

本計画の効果的な実施に向け、南大東村、JAおきなわ、かぼちゃ産地協議会、沖縄県農業改良普及センター等、地域関係者が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

かぼちゃ産地協議会では、堆肥や緑肥を活用した土づくり、栽培技術の向上、販売促進等に関する勉強会を実施し、本協議会構成員間の情報共有を図っている。

〈県・村単独事業〉

県の支援や村単独事業を活用し、関係機関が連携して土壌分析を行うとともに、必要に応じて堆肥、緑肥、土壌改良資材等の投入等を行うなど、土づくりを支援している。

## 事業効果

事業により機械導入することで、さとうきび栽培の一部作業を中心的経営体へ集約し、効率的な生産体制の確立を図り、余剰労働力を栽培面積の拡大や高収益作物のかぼちゃ栽培へ振り替えることが可能となり、販売額の10%以上の増加が見込まれる。

～さとうきび、かぼちゃの販売額～

